



相手チームめがけボールを投げ込む児童

親子で楽しく、真剣勝負**■親子スポーツ大会**

菅山小学校で10月20日、親子スポーツ大会が行われました。

これは、P.T.Aの親睦を深めることを目的に行われたドッジボール大会で、各学年ごとに親子でチームを組んだ学年対抗戦と、保護者対児童の両試合が行われました。

参加した保護者は「普段はなかなか接する機会が少ない保護者同士や他の子どもたちと一緒にになって、とても楽しい経験ができた。こういった行事は本当に大切だと感じた」と話しました。

食品の重さを量って確認**■食料品試買会**

食料品試買会が10月10日、市総合健康福祉センターさざんかで開催されました。

これは、計量制度が安心安全な消費生活に寄与していることを実感してもらおうと、県計量検定所が主催したものです。参加した19人の市民は、市内のスーパー・マーケットで購入した食料品をグループごとに精密なばかりで計量し、食品に表示されている内容量が正確かどうかを確認しました。

参加者は「今まで何となく買っていたが、今後は重さを気にしてみようと思った」と話しました。



自分たちが購入した食品の重さをばかりで量る参加者

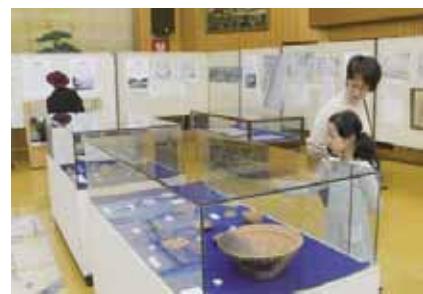
いつも利用している海岸をきれいに**■台風19号による漂着物の清掃ボランティア活動**

地元や県中部地区のサーファーなどが10月20日、台風19号による大量の漂着物の清掃ボランティア活動を静波海岸で行いました。

これは、地元のサーフショップやビーチクリーン実行委員会、(一社)日本サーフィン連盟静岡2区支部などがインターネット上で呼びかけを行つたもので、約200人の参加者は、約2時間の作業で70リットルごみ袋約100袋分のプラスチックやペットボトル、軽トラック15台分の流木や草木を分別回収しました。



大量の漂着物を回収する参加者

**田沼意次侯の人物像に迫る****■市史料館特別展「大意次展—田沼再考—」**

田沼意次侯生誕300年記念事業 市史料館特別展「大意次展—田沼再考—」が10月19日から12月1日まで、市史料館で開催されています。

この特別展では、田沼家旧蔵と伝わる絵巻物や掛け軸をはじめ、相良城跡から発掘された品や田沼街道にまつわる古文書・古絵図などが展示されているほか、田沼家旧領地の旧家に伝わった、田沼家の旧家紋「丸に一紋」と「七曜紋」の両方が入った非常に珍しい「小柄（小刀）」も初公開されています。

広報担当がどこにでも取材に行きます。

あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

情報交流課 ☎ 054-230040 ✉ seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

**国際メジャー大会出場目指して****■ゴーセンカップ国際レディースオープンテニスメント**

国際テニス連盟公認「ゴーセンカップ・スウェーデン・ビッグビーチ牧之原国際レディースオープンテニス」が10月7日から13日まで、静波リゾートホテル・スウェーデンビーチで開催されました。

この大会は、日本の女子選手が世界で活躍することを願って創設され、国内外のメジャー大会へ出場するための登竜門になっている国際大会で、国内外から多くの選手が出場し、熱戦を繰り広げました。

シングルスはバドーサ・パウラ選手（スペイン）が接戦を制し見事優勝。またダブルスはチョン・エディス選手（香港）、ストジアディ選手（インドネシア）ペアが優勝しました。



熱戦を制し見事優勝したバドーサ・パウラ選手

海運興隆と海上安全を祈願**■神明神社の御船神事**

市指定無形民俗文化財「神明神社の御船神事」（細江区）が10月13日に行われました。

この神事は、江戸時代後期から続く、海運興隆と海上安全を祈願する伝統行事です。

長さ約2.6メートルの御船を船若と呼ばれる地域の青年が担ぎ、「ヤッサー、コラサー」の掛け声に合わせ、船が荒波を越えていくように激しく前後に傾けながら神社の敷地内を練り歩きました。

訪れた観客は、その姿を写真や動画に収めながら、大きな歓声と拍手を送りました。



大きな掛け声に合わせ御船を荒々しく担ぐ船若

**日ごろの練習の成果を披露****■第14回牧之原市文化祭 芸能発表会**

10月6日、いへらで第14回牧之原市文化祭「芸能発表会」が行われました。

これは市文化協会の会員による発表会で、総勢48組の個人や団体が出演し、歌やダンス、大正琴、吟詩、ギター、剣舞など、日ごろの練習の成果をステージで披露しました。

また、会場には限定100席のお茶席や相良華道連盟と相良水墨画会による作品展示がされたほか、先着で150人に花の苗が配られるなど、多くの来場者を楽しませました。